

3年 学年だより



# すばる

大阪市立築港中学校  
第 8 号  
平成27年 5月22日発行

## 修学旅行せまる！ あと5日！…準備を確実に！

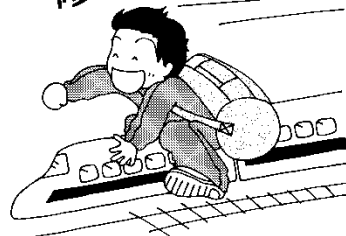
いよいよ来週、27日（水）から29日（金）2泊3日の修学旅行が近づいてきました。先日の学年集会で、しおりを使って詳しい説明をしましたので、この土日には確実に準備をしておいて欲しいと思います。

修学旅行までの取り組みは、あと

- (1) 平和学習2回目…22日
- (2) 修学旅行中の集合隊形練習…25日
- (3) 前日の荷物検査と諸注意…26日
- (4) 平和セシモニーやバスレクなどの各係の最終打ち合わせ…25日&26日

残り、5日ラストスパートです！

修学旅行☆



## 民泊家庭へのお土産完成！…虫除けアロマキャンドル

5月21日（木）、お世話になる民泊家庭に持っていくお土産が完成！ 先週作成した虫除けアロマキャンドルにリボンを通し、メッセージカードと一緒にビニール袋に入れました。

メッセージカードの裏には、キャンドルに入れているアロマ「シトロネラ」という精油の効能についても書きました。

防虫効果だけでなく様々な効能もあるようなので、喜んでいただけたらいいと思います。



HPも見てね



ちょっとひとこと！

27日の修学旅行で体験するラフティングの時に、安芸太田町観光協会の方からTV取材があると聞いています。

## 来週・再来週の予定

- 5月25日（月）中間テスト（国・社・英）
- 5月26日（火）中間テスト（数・理）
- 5月27日（水）～29日（金）
- 6月 1日（月）教育実習開始（保健体育科女子1名）  
1限 修学旅行の振り返り・感想
- 6月3日（水）6限 道徳
- 6月5日（金）6限 平和学習③



団結♡協力 37期生 ピア・サポートが光ります☆



# 被爆70年…ヒロシマを考える

今年は、第二次世界大戦終結から70年。これまで新聞にも関連記事がいろいろ掲載されています。修学旅行の目的にも「(2) 反戦平和と学習の一環として、広島に原爆が落とされた歴史を学び、世界におけるヒロシマの重要性を知る。」とあります。広島で、私たちにできることを考えてみましょう。

2015年4月5日(日)

毎日新聞 朝刊



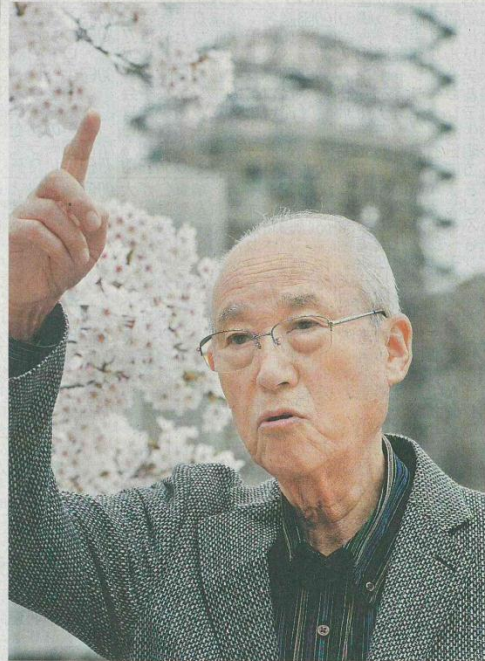
## 3階で被爆死 土が「遺骨」

5日で完成から100年になった世界遺産・原爆ドームを、「墓」と呼ぶ人たちがいる。地場産品の振興拠点として開館して30年後の1945年8月6日。その日は月曜日で、「広島県産業奨励館」と呼ばれていた建物で多くの人が働いていた。戦況の激化とともに国や県の機関が事務所を置くようになり、館の元々の機能は停止していた。「ここで何人が被爆死したのか。70年後の今も分かっていない。」(一面参照)

### 原爆ドーム100年

桜が咲き誇る広島・(79)広島市には原爆平和記念公園。花見客 ドームを見つめ「私に 励館は、隣に真木出の隣で、木村英雄さん」としては、姉と、姉と、張所など、2階は統

一緒に「なつたんだちのお墓なんです」と語った。



広島県産業奨励館に勤めていた姉を原爆で亡くした木村英雄さん—広島市中区で、大西岳彦撮影

制鉄の支店や県警の保険課などがあった。1階と3階に入っているのが、旧内務省中国四国土木出張所。出張所は「陸軍航空本部広島建設隊本部」でもあり、実質は軍関係の仕事だった。

木村さんの姉春江さん(当時17歳)は出張所庶務課の電話交換室で働いていた。部屋は3階で、正面に向か

って丸いドームの右下にあった。始業は8時。今日は休むけえ、伝えて。当日朝、春江さんは同僚の女性からの電話を受けていた。女性が発言「木村さんの兄利夫さん(89)に話したという。中国地方建設局(当時)が戦後40年を機にまとめた資料によると、出張所内外で15、61歳の52人が死亡した。当日は少なくとも13人が所内にいたとされる。内蔵障害、重火傷、行方不明…。資料には被爆した職員の記録が刻まれている。春江さんの欄には「行方不明」とあり、備考欄には「8月6日8時20分死亡」との推定が記されていた。

木村さんは爆心地から約1・4kmの国民学校で被爆した。避難先では遺体の火葬を手伝った。

廃墟となった奨励館の場所は、戦後しばらくは自由になし入りができた。姉たちが眠る上を歩く人々を見て、思わず叫んだことがある。「その下に、たくさん遺骨があるんです」。

べっぴんで、きょうだいの中でも一番優しかった姉ちゃん。利夫さんがガレキの中で拾った少しばかりの土が、遺骨代わりだ。「原爆ドームが残っていたよかったです。ここに姉がいますから。木村さんは手を合わせた。」(高橋咲子)

広島市中区の平和記念公園で20日午前、原爆慰霊碑の石室に納められた原爆死没者名簿を外に出して、外気にさらす「風通し」が行われた。

原爆投下時刻の午前8時15分、作業に当たる市職員が黙とうをささげて石室から107冊の名簿を取り出し、一枚ずつめくって湿気を払いながら傷みがないかを確認した。市の担当者は「被爆70年の節目で、身が引き締まる思いで作業をした」と話した。

原爆死没者名簿は、昨年8月5日までに死亡が確認された29万2325人分の名前と死亡年月日、死亡時の年齢が記載されている。昨年から5507人分増え、名簿3冊が追加された。別に、長崎で被爆し広島慰霊碑に奉納を希望する人の名簿1冊もある。(山田尚弘、写真も)

### 被爆70年 風通し

原爆死没者名簿は、昨年8月5日までに死亡が確認された29万2325人分の名前と死亡年月日、死亡時の年齢が記載されている。昨年から5507人分増え、名簿3冊が追加された。別に、長崎で被爆し広島慰霊碑に奉納を希望する人の名簿1冊もある。(山田尚弘、写真も)

原爆死没者名簿は、昨年8月5日までに死亡が確認された29万2325人分の名前と死亡年月日、死亡時の年齢が記載されている。昨年から5507人分増え、名簿3冊が追加された。別に、長崎で被爆し広島慰霊碑に奉納を希望する人の名簿1冊もある。(山田尚弘、写真も)



2015年5月20日(水)

毎日新聞 夕刊

